

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社イズミ ゆめタウン廿日市

(2) 事業所の所在地

広島県廿日市市下平良2丁目2-1

(3) 業種

5611 百貨店, 総合スーパー

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、令和4年度を基準年度とし、令和5年度から令和9年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

近年、地球温暖化が進み、多発する豪雨、台風の大型化などの異常気象を最小限にとどめるため、気候変動問題に対して取り組みを行います。地球温暖化は事業を行う地域でも大いに影響があり、もはや他人事ではなく、かけがえのない唯一無二の地球において持続的に生活を続けることができるよう、事業を通じて環境問題解決に取り組み、よりよい未来を次世代につなげます。温室効果ガス削減のために、気候変動対応方針を定め、事業活動の中で施策に取り組みます。

2. 方針

①脱炭素社会への貢献

省エネ化・再生可能エネルギーへの切り替えを実施し、CO2排出量削減を図ります。

②循環型社会への対応

お客さま、お取引先様とともに、プラスチック、食品などに代表される廃棄物の排出の抑制に努め、廃棄物となったものに対してはリサイクルに取り組み、限られた資源を有効に活用します。また廃棄物については、不適正処理を行いません。

③環境に対する意識の向上

脱炭素社会の実現に向け、従業員一人ひとりの意識改革に努めます。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	令和（4）年度	令和（4）年度
二酸化炭素	5,580	5,580

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	令和（4）年度	令和（4）年度
二酸化炭素	0	0

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	令和（4）年度	令和（4）年度
メタン	0	0
一酸化二窒素	0	0
その他 温室効果 ガス （ HFC PFC SF ₆ NF ₃ ）	0	0

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (令和(4)年度)		削減目標		目標年度 (令和(9)年度)	
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)		
エネルギー起源CO ₂	5,580	1.0	56	5,524		
非エネルギー起源CO ₂				0		
メタン				0		
一酸化二窒素				0		
その他 温室効果ガス				0		
温室効果ガス 実排出量総計	5,580	1.0	56	5,524		
温室効果ガス みなし排出量		-		5,524		
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は排出量年1%の削減率 電気は中国電力㈱の実排出係数を使用					

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (令和(4)年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和(9)年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量	0	0			0	0	
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	電気使用量の削減	・ 電気の使用量を1%削減	・ 冷暖房温度の適正管理 ・ 省エネ型電気機器への更新 ・ 高効率照明器具への更新
		・ 購入電力を25%削減	・ 太陽光発電設備（オフサイトPPA）の導入
2			
3			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1	なし	
2		
3		

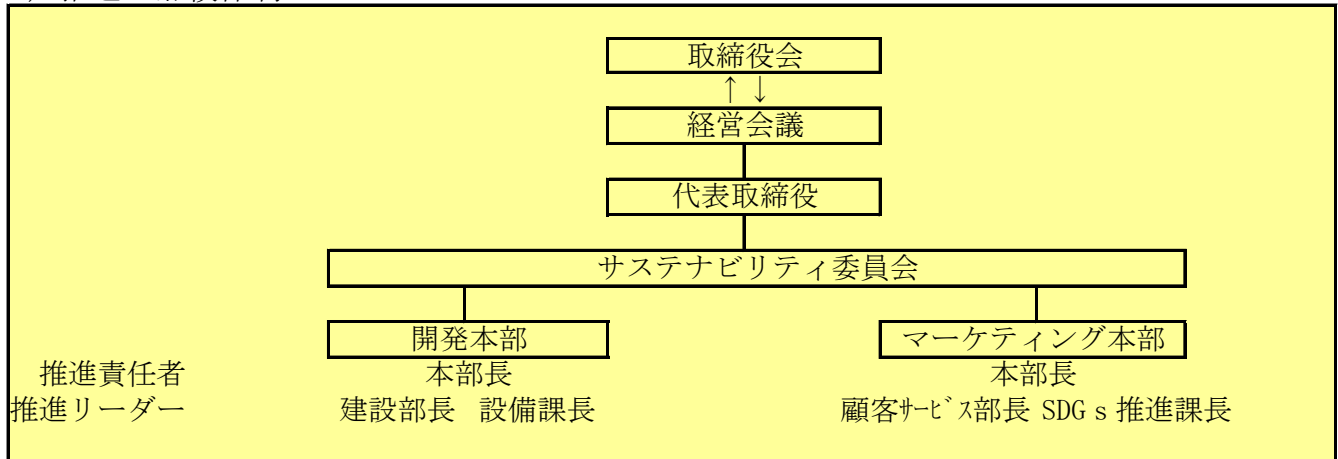
○ その他の取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	なし		
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

開発本部を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、CO2削減・省エネ分科会において定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。
また、毎年度の取組状況、点検・評価内容等については、計画書とともに公表する。

(3) 計画書等の公表

- ・ 当社のホームページ上で公開する。
- ・ 毎年度発行するCSR報告書（環境報告書）において、計画内容及び進捗状況を掲載する。

(4)事業所位置図

